

1. 一般事項

一般事項	評定番号	ERI-U1E14012		評定年月日	平成26年11月17日		
	件名	稚内市立 潮見が丘小学校 校舎2, 3-1棟					
	申請者	株式会社 綜企画設計 札幌支店長 浅野 憲夫					
	診断改修設計者	建築	株式会社 綜企画設計		既存建物設計者	建築	株式会社 久米建築事務所
		構造	株式会社 綜企画設計			構造	株式会社 久米建築事務所
		監理	-			監理	-
		施工	-			施工	-
	建築場所		北海道稚内市富岡4丁目3番3号				
	用途		新規用途：-		既存用途：校舎		
	面積	敷地面積	-				
		建築面積	-				
		延べ面積	1,409.00 m <sup>2</sup>				
	形状	建物長さ	X方向 (梁間方向) 35.05 m		Y方向 (桁行方向) 49.00 m		
		代表的なスパン	4.00m×7 スパン、7.05m×1 スパン		9.00m×1 スパン、8.00m×5 スパン		
	階数	地上	2 階				
		地下	-				
		塔屋	-				
	高さ	軒の高さ	7.07 m				
		各階階高	1階 3.30 m、2階 3.30 m				
		基礎底深さ	GL- 1.20 m				
	隣接建物		<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 1棟 (EXP. J 離隔距離：50mm 建物高さとの比：1/141.4) 3-2棟 (EXP. J 離隔距離：50mm 建物高さとの比：1/141.4) 10棟 (EXP. J 離隔距離：50mm 建物高さとの比：1/139)				
	建物経歴	設計年月	昭和50年		(変更の規模・状況, 火災・震災の経歴) 特に無し		
		竣工年月	昭和50年				
		増築・改築	無				
火災・震災		無					
確認番号		不明					
確認年月日		不明					
検査済証の有無		有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無					

2. 構造概要

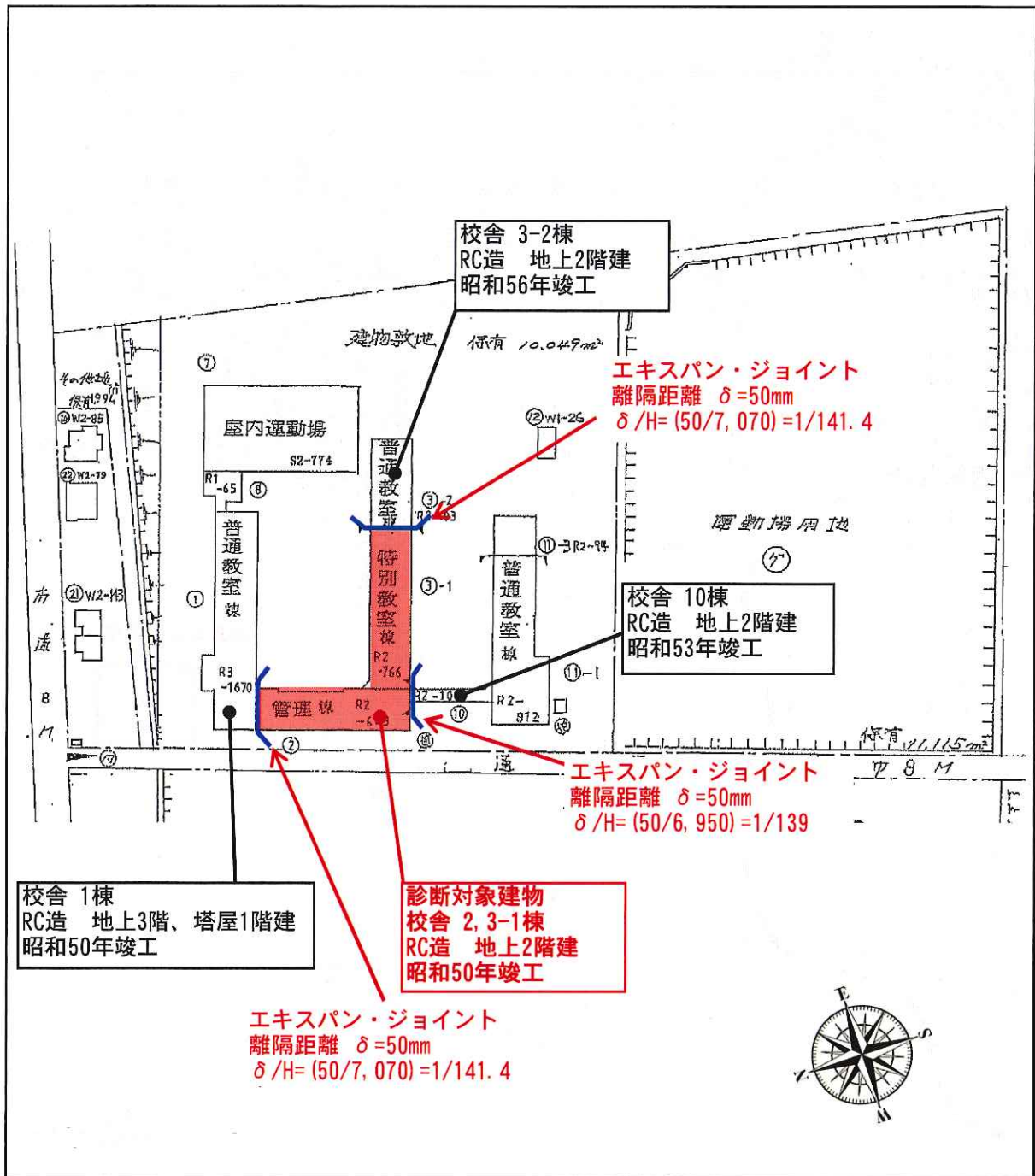
構造概要	構造概要		X方向（梁間方向）	Y方向（桁行方向）	
		構造種別	鉄筋コンクリート造		
		骨組形式	耐力壁付きラーメン構造	ラーメン構造	
		材料種別	コンクリート：Fc 180 kg/cm <sup>2</sup> （既存図面に記載有り） 鉄筋：丸鋼鉄筋 SR24、異形鉄筋 SD30		
	地盤・基礎概要	地盤種別	不明		
		支持層	不明		
		基礎・地業	杭基礎		
		基礎工法	RC パイル φ=300 設計用耐力 20t/本		
	構造的特徴	構造的特徴	鉄筋コンクリート造地上2階の校舎で、桁行方向、張間方向共に耐力壁付きラーメン構造の建築物である。 平面形状がL型形状となっている。		
		下階壁抜け柱	有 ・ <input type="checkbox"/> 無		
		9mを超えるRC造・SRC造大スパン梁	有 ・ <input type="checkbox"/> 無		
		長さ2mを超える片持ちスラブ片持ち梁	有 ・ <input type="checkbox"/> 無		
		コンクリートブロック壁	<input type="checkbox"/> 有 ・ 無 間仕切り等		
		その他	煙突		

3. 建築物調査概要

建 築 物 調 査 概 要	図 書 照 合	図書の有無	建 築 図 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 )		
			構 造 図 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 )		
			構造計算書 ( 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> )		
			地盤調査報告書 ( 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> )		
	図 書 と の 照 合	図書との照合	<input checked="" type="checkbox"/> 整合		
			不整合		
	建 築 物 調 査 概 要	コ ン ク リ ー ト	設計基準強度	180kg/cm <sup>3</sup> (17.6 N/mm <sup>2</sup> )	
			診断時強度	(全階) 22.0N/mm <sup>2</sup>	
			圧縮試験強度 (推定強度)	(1階) 25.1N/mm <sup>2</sup> (2階) 25.1N/mm <sup>2</sup>	
			標準偏差	(1階) 2.2N/mm <sup>2</sup> (2階) 4.7N/mm <sup>2</sup>	
調査個数			6ヶ所 各階3ヶ所		
中 性 化 深 さ			調査個数	6ヶ所 各階3ヶ所	
		最小値	0.0 mm		
		最大値	6.7 mm		
		平均値	1.12 mm		
鉄 筋		主筋 (材質)	SD30		
	診断時降伏点強度	344 N/mm <sup>2</sup>			
	横補強筋・壁筋 (材質)	SR24			
	診断時降伏点強度	294 N/mm <sup>2</sup>			
鉄 骨	配筋状態	異常なし			
	鉄骨 (材質)	該当無し			
	診断時降伏点強度	該当無し			
外 観 劣 化	鉄骨 (材質)	該当無し			
	診断時降伏点強度	該当無し			
外 観 劣 化	ボルト調査結果	該当無し			
	外観劣化	目視及び打診調査の結果、壁には乾燥収縮クラックが多少見られるが、仕上材も含めて著しい破損等は特に見られない。			
外 観 劣 化	不同沈下	不同沈下の兆候は見られない。			
	避難時に支障がある部分の非構造部材の所見	特に無し			
外 観 劣 化	調査結果についての所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合的に大きな問題は見受けられない。</li> <li>・ 壁には乾燥収縮クラックが多少見られるが、構造体に影響のあるものは全体面積からすると一部であった。</li> <li>・ 柱のはつり調査の結果、帯筋のフックが90度の箇所があったため、検討時に帯筋のピッチを2倍にして検討する。</li> <li>・ 調査結果を考慮し、劣化係数を算出し耐震診断に反映するものとする。</li> </ul>			



1-2 配置図



配置図